

ぶらり街道めぐり

～水の恵み編～

地域資源を活かした来訪・交流の促進、文化・観光振興を目的として、
「ぶらり水の路めぐり～水の恵み編～」を開催します。
京阪沿線の、豊かな水の恵みに育まれてきた歴史的景観や自然風景、河川などを巡る
観光PRを展開して、まちの奥深さを楽しみながら魅力を再発見してみましょう。

2025年**10月4日(土)** 13:00～15:00 (12:30開場)

会場: 伏見区役所 1階ホール (丹波橋駅下車 徒歩約8分)

定員: 150名 | 参加費: 無料 | 受付締切 9月24日(水)

※応募多数の場合は抽選



伏見連続講座特別編

伏見の街づくりと「水」

河川や地下水など「水」との関係が深い街「伏見」。舟運や酒蔵などの水を利用する産業が、土地利用や観光などの様々な形で伏見の街づくりに影響を与えてきました。そんな伏見と水との関係について、時間の軸をベースに探っていきます。新たな伏見の水魅力を感じていただければ幸いです。

講師: 鈴木 康久

(京都産業大学現代社会学部教授・カップ研究会世話人)



伏見みなと物語 ～生まれる港・失われた港～

風光明媚な「伏見山荘」を支えた伏見津で始まり、豊臣秀吉の築いた伏見城の船入、高瀬川の開通による伏見浜の賑わい、そして62年ぶりに復活した淀川舟運の港。平安・中世・安土・桃山・近世、そして令和の伏見港へと引き継がれる、水運とともに栄えた伏見の「みなと」の情景と記憶が鮮やかによみがえります。

講師: 大滝 裕一

(㈱東京建設コンサルタント京都事務所技師長・カップ研究会世話人)



【トークセッション】鈴木康久×大滝裕一

共催: 京都市伏見区、協力: カップ研究会

ガイドウォーク 京産歩「祝・国宝指定 大学生と琵琶湖疏水の蹴上を歩く」

本年の5月16日に琵琶湖疏水の施設等が国宝・重要文化財として新たに指定することについて答申がありました。これを記念して京都産業大学鈴木ゼミ生が、インクラインや南禅寺水路閣などをガイドします。学生目線での疏水の楽しみ方を感じていただければ嬉しいです。



2025年**11月8日(土)** 13:00～15:00 | 集合場所/蹴上駅

受付時間/12:45 | 講師/京都産業大学鈴木ゼミ生

募集人数/20名 | 参加費/無料 | 共催: 京都産業大学鈴木ゼミ

受付締切 10月28日(火)

スタート
13:00

蹴上駅

インクライン～第一・第二疏水合流場所

南禅寺水路閣

疏水記念館

ゴール
15:00

約2.0キロ、約2時間

多自然池の生き物から森と海の繋がりを知る

枚方の水辺は、淀川を通じて海と京の川や山への繋がりで生息する生き物は、環境に適応して暮らしてきた。今回は、多自然池の水生動物から水辺の健康度、水質を知り、森・川・海の連続性を勉強します。



竹門 康弘

2025年**9月23日(火・祝)** 10:00～12:30 (9:30開場)

会場：枚方市総合文化芸術センター別館第5会議室(枚方市駅下車 徒歩約5分)

定員：親子20組(40名) ※小学生4年生以上対象 | 参加費：無料

講師：竹門 康弘(大阪公立大学 客員研究員・京の川の恵みを活かす会代表)

受付締切 9月7日(日)

主催：かわまちづくり推進協議会

共催：枚方市総合文化芸術センター指定管理者 アートシティひらかた共同事業体

協力：京の川の恵みを活かす会、淀川管内河川レンジャー

- 実際に多自然池で生き物を捕まえ観察いたします。
 - 捕まえた生き物は顕微鏡等で観察します。
- ※一緒に水の中に入りたい希望者には、ライフジャケットを用意します。また、着替え等をご持参ください。

枚方市総合文化芸術センター

京阪電車枚方市駅からすぐの総合文化施設。年間を通して、クラシック、ポップス、演劇、落語などを実施する本館と会議室、和室、多目的室などを完備する別館からなる幅広い用途でご利用いただける施設です。



▲本館



別館▶



◆申込方法

京阪電車WEBサイト

二次元バーコードにアクセスしていただき必要事項をご記入の上、ご応募ください。

<https://www.keihan.co.jp/navi/burari/navi/form/>



[keihan.co.jp][movabletype.net]ドメインのメールが必ず受信できるよう設定をお願いします。

※応募多数の場合は抽選になります。1度に2名まで申込可能。当選の方のみ、開催前約1週間を目途にメールを送信いたします。

きょうと いきものフェス! 2025

いきもの好き、集まれ!

自然やいきものの保全に関連する団体、企業、個人、施設のブース展示、グッズ販売、自然観察会、ワークショップ、発表会などを行います。

日時：2025年9月27日(土)・28日(日)

時間：9:00～16:00

場所：京都府立植物園

詳しくは
こちら▶



第8回 淀川河口域を考える会

河川河口域の生物や環境を活かした食・文化・観光を盛り上げるために、多彩な顔ぶれで議論します。

日時：2025年11月12日(水)

時間：13:00～16:30(受付開始：12:30)

場所：第1大阪港ビル 大阪港会館8F

詳しくは
こちら▶



第15回 川の恵みを活かすフォーラム ～京と大阪で川の恵みを活かす～

淀川水系の川の恵みを増やし活かすために、京都と大阪の漁協や自然愛好団体・行政機関が取り組む、川や河口の環境改善の成果を報告します。

日時：2025年10月9日(日)

時間：10:00～17:00

場所：京都大学防災研究所宇治川
オープンラボラトリー本館1Fセミナー室

定員：70名 | 会費：無料

京の川の恵みを活かす会キャラクター
「鮎がしら餅っば」



詳しくは
こちら▶



川の恵みを活かす食味会 ～川魚の味くらべ～

- 各地の天然アユ塩焼き、甘露煮
- ビワマス造り、ウグイ塩焼き
- 鯉造り、鯉こく、ニゴイ料理
- 淀川河口産天然ウナギ蒲焼き
- 鴨川産ナマズ蒲焼き、各種潮汁

日時：2025年10月26日(日)

時間：12:00～16:00

場所：京都大学防災研究所宇治川
オープンラボラトリー中庭

定員：100名 | 会費：3,000円



詳しくは
こちら▶



2025年

淀川三川アユ流下仔魚調査

1時間おきに合計5回の網入れをしアユの仔魚の数を観察いたします

第1回：2025年11月15日(土)

第2回：2025年11月22日(土)

第3回：2025年11月29日(土)

時間：第1・2・3回共17:00～23:00

場所：淀川河川公園さくらであい館



網入池魚、アユ

詳しくは
こちら▶



2025 年深泥池市民水質調査

国の天然記念物である深泥池生物群集にとって貧栄養で酸性の水質が好ましい条件ですが、汚水や水道水の流入があると、富栄養化して中性やアルカリ性に変化する恐れがあります。深泥池の生物群集を守るためには、水質を監視することによって致命的な人為影響を防ぐことが必要です。この調査は、誰でも簡単に測定できるバックテストを用いますので、お子様も参加することができます。

日時：2025年11月2日(日)

時間：10:00～16:30 小雨決行

集合場所：深泥池南岸の小屋前
(出町柳駅乗り換え、市バス
深泥池(バス停下車約5分)

詳しくは
こちら▶



京都・鴨川と別子銅山を歩く

著書：鈴木康久・大滝裕一・高橋卓也

千年の都・京都の中心を流れる「鴨川」。鴨川に関係する「三条大橋」「四条大橋」「五条大橋」「高瀬川」「鴨川運河」「寛文新堤」「出雲阿国」などの水文化を知っていただければ、「鴨川が歴史の舞台としての輝きを放つのでは」と、取り組んだのが本著です。鴨川が京都の都を育んできた歴史を知っていただき、さらに鴨川への興味を持っていただけることを願っています。

